

学科名	生物環境化学科						
科目名	無機化学Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	必修科目(バイオサイエンスコース)/必修科目(食品生物資源コース)/必修科目(エネルギー・環境コース)						
担当者	西田 哲明						
授業の到達目標(シラバスから)	1. 代表的なイオン結晶の構造と化学結合を説明できる。 2. イオン結晶の構造とイオン半径の相関関係について説明できる。 3. 簡単な分子の化学結合と格子エネルギーについて記述できる。 4. 金属と半金属、半導体の電気特性とバンド理論を説明できる。 5. 酸・塩基の定義と概念を説明できる。						
日程と内容	9/17 導入講義：授業の概要と進め方、成績評価法について説明。最密充填構造（1種類の原子） 9/24 2種類のイオン（原子）の充填と結晶構造その1 10/1 2種類のイオン（原子）の充填と結晶構造その2 10/8 3種類以上のイオン（原子）の充填と結晶構造 10/15 結晶構造の理論 / 半径比則 10/22 イオン結合と格子エネルギー 10/29 イオン結合と共有結合 11/12 化学結合と結晶構造 11/19 ファーヤンス則、中間試験 11/26 金属結合とエネルギーバンド、結合エネルギー 12/3 金属と半導体の電気伝導性 12/10 金属と半導体の熱伝導性 12/17 超伝導の基礎理論と応用 12/24 酸と塩基の定義その1 1/14 酸と塩基の定義その2 1/21 定期試験						
成績評価基準	7	70%	実技	0%			
	臨時試験	30%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	「概ね目標を達成することができた。最先端研究なども紹介しながら、「化学のこころ」が理解出来るよう心掛けた。						
反省点	「授業内容が理解できない」と答えた学生が2名いた。すべての受講者が理解できなかったのは残念。						
来年度の計画	全員が総合評価9点以上を付けてくれるよう、満足度の高い授業を行いたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	アンケートに答えてくれた69名の総合評価(10点満点)の平均は8.6であった。うち10点が22%、9点が36%、8点が26%であった。これらを合計すると84%となる。これは昨年とほぼ同じ結果である。個別の設問項目においても、多くの項目について4.2~4.4(5段階評価)の評価点であったが、授業内容が理解できない学生が2名いた。授業の予習、復習をしない、と答えた学生も2名(恐らく同一学生)であった。						
履修登録者数	76名	定期試験受験者数	69名	合格者数	59名	合格率	86%